

## 令和元年度に実施した研究課題評価の結果について

## I 中間評価について

## 1 評価対象

評価実施年度に予算計上している継続研究課題。

ただし、研究開始年度及び終了年度にあるものは除く。

これまでの進捗状況や目的達成可能性、研究を取り巻く状況の変化等の観点から、引き続き研究を続けることの適否を判断するための有用な情報を提供する。

## 2 評価方法

## (1) 内部評価委員会による評価を実施。

研究開始から奇数年度はヒアリング形式、偶数年度は書面形式により行う。

## (2) 評価の観点及び評価項目

評価の観点	評価項目	評価内容
必要性	ニーズの状況変化 (A、B、C、D)	政策の転換や産業界・県民生活におけるニーズの変化等、研究を取り巻く状況の変化をみる。
有効性	研究開発効果 (A、B、C、D)	最終目標に到達した場合に、研究の成果が本県産業の振興や県民生活の向上に十分に貢献できるかをみる。
目標達成可能性	進捗状況 (A、B、C、D)	研究計画に従って着実に実施しているか評価時までの研究開発の進捗状況をみる。
	目標達成阻害要因の状況 (A、B、C、D)	技術水準、これまでの研究成果、他の研究主体の研究動向等より、目標達成を阻害する要因の状況をみる。
総合評価 (A、B+、B、C、D)		次年度以降引き続き実施すべきか、また実施する場合の優先度を判断する。

## 3 評価結果

A 評価 (当初計画より大きな成果が期待できる)	1 課題
B+ 評価 (当初計画より成果が期待できる)	6 課題
B 評価 (当初計画どおりの成果が期待できる)	16 課題
C 評価 (さらなる努力が必要である)	該当なし
D 評価 (継続する意義は低い)	該当なし
合計	23 課題

#### 4 評価結果一覧

評価基準日 平成31年4月1日

No	研究機関名	課題名	事業年度	ヒアリング 実施	ニーズ の状況 変化	効果	進捗 状況	目標達成 阻害 要因の 状況	総合評価	資料
①	総合食品研究センター	酒造工程の微生物を制御することによる日本酒の高品質化技術	H30～R2		A	A	B	A	B+	資料4
②	総合食品研究センター	いぶりがっこの効率的生産方法の確立と原料ダイコンの加工適性解明	H30～R2		A	A	B	B	B+	資料4
③	総合食品研究センター	新規コメ発酵素材(調味料)の開発・応用と機能性	H30～R2		A	B	B	B	B	資料4
④	健康環境センター	新規食中毒原因菌エシェリキア・アルバーティーの迅速検出法の検討と感染源の解明	H30～R2		A	A	A	A	A	資料4
⑤	農業試験場	米生産の多様化に対応した省力・低コスト水稲病害虫防除技術の確立	H28～R2		A	B	B	B	B	資料4
⑥	農業試験場	多収性品種を用いた業務・加工用米の省力安定多収生産技術の確立	H29～R3	○	B	B	B	B	B	資料4
⑦	農業試験場	秋田ブランドを確立する花き新品種育成	H30～R4		B	B	B	B	B	資料4
⑧	農業試験場	大規模経営体の園芸部門における労働力確保条件に関する研究	H30～R2		B	B	B	B	B	資料4
⑨	果樹試験場	ナシ・ブドウ・モモ・その他果樹の育成系統及び新品種の適応性検定試験(第4次)	H23～R2	○	B	B	B	B	B	資料4
⑩	果樹試験場	果樹産地再生の基盤となる新品種の育成と選抜	H28～R7		B	B	B	A	B	資料4
⑪	果樹試験場	リンゴの収穫果および貯蔵果に生じる黒班病状の原因解明と防除法の確立	H30～R2		A	A	B	A	B+	資料4
⑫	畜産試験場	比内地鶏の飼料体系の確立および品質の安定化に関する研究	H29～R2	○	B	B	B	A	B	資料4
⑬	畜産試験場	比内地鶏の行動特性を応用した生産方法の開発	H30～R2		B	B	B	A	B	資料4
⑭	水産振興センター	秋田ブランドを確立する浅海生産力利用技術の開発	H29～R3	○	A	B	B	B	B	資料4
⑮	林業研究研修センター	海岸防災林の低コスト造成手法の開発	H28～R2		B	B	B	A	B	資料4
⑯	林業研究研修センター	初期成長に優れたスギ次世代精英樹の開発	H28～R2		B	A	B	A	B+	資料4
⑰	林業研究研修センター	マツタケ等菌根性キノコの生産・増産技術の開発	H28～R2		B	B	B	B	B	資料4
⑱	林業研究研修センター	再造林における樹種選択と多機能型森林育成技術の開発	H29～R3	○	A	B	B	A	B+	資料4
⑲	林業研究研修センター	ニホンジカの個体数を制御するための生息環境の解明	H30～R4		A	B	B	A	B+	資料3
⑳	産業技術センター	新規電磁場センシング・ワイヤレス給電技術の研究開発	H28～R2		B	B	B	B	B	資料4
㉑	産業技術センター	電界低粒制御技術を用いた新たな切断技術の開発	H30～R4		B	B	B	B	B	資料4
㉒	産業技術センター	自動車用複雑形状部品のための熱変形レスレーザー焼き入れ技術に関する研究	H30～R2		B	B	B	B	B	資料4
㉓	産業技術センター	IoT・AIを活用した生産工程のスマート化に関する研究	H30～R2		B	B	B	B	B	資料4

## II 事後評価について

### 1 評価対象

評価実施年度の前年度に研究期間が終了した研究課題。

最終到達目標の達成度、研究成果の効果の観点から研究結果を評価し、次期研究計画の策定等に活用する。

### 2 評価方法

#### (1) 内部評価委員会による評価を実施。

原則としてヒアリングにより実施。研究が、類似の研究課題に継続される場合は書面により実施。

#### (2) 評価の観点及び評価項目

評価の観点	評価項目	評価内容
目標達成	最終到達目標の達成度 (A、B、C)	研究計画で設定した最終到達目標の達成状況をみる。
有効性	研究成果の効果 (A、B、C、D)	研究成果の受益対象者の設定、成果の活用方法を踏まえ、研究成果の効果の評価する。
総合評価 (S、A、B、C、D)		最終到達目標の達成度、研究成果の効果から研究課題を総合的に評価する。

### 3 評価結果

S評価（当初見込みを上回る成果）	2 課題
A評価（当初見込みをやや上回る成果）	2 課題
B評価（当初見込みどおりの成果）	9 課題
C評価（当初見込みをやや下回る成果）	該当なし
D評価（当初見込みを下回る成果）	該当なし
合計	13 課題

#### 4 評価結果一覧

評価基準日 平成31年3月31日

No	研究機関名	課題名	事業年度	ヒアリング 実施	目 標 達成度	効果	総合評価	資料
①	総合食品研究センター	バイオリファイナリー技術による環境清浄化に適応した新技術の開発	H28～H30	○	B	A	B	資料5
②	総合食品研究センター	「食農医連携」による秋田発の抗メタボ食品の開発	H28～H30	○	A	A	S	資料5
③	総合食品研究センター	自社酵母を活用する香り高い商品群「秋田味噌蔵・醤油蔵」シリーズの開発	H28～H30	○	B	B	B	資料5
④	健康環境センター	廃水処理施設における1,4-ジオキサン分解菌の挙動と活性促進因子の探索	H28～H30	○	A	A	A	資料3
⑤	農業試験場	次代を担う秋田米新品種開発事業	H26～H30	○	A	A	S	資料5
⑥	農業試験場	次代の秋田の酒を担う酒造原料米品種の開発	H26～H30	○	B	A	B	資料5
⑦	農業試験場	生産環境の変化に対応した園芸作物病虫害防除技術の開発	H26～H30	○	B	B	B	資料5
⑧	農業試験場	「秋田の顔となる野菜」のブランド化と安定生産を支援する新栽培技術の開発	H26～H30	○	A	A	A	資料5
⑨	農業試験場	内発・外発・創発的6次産業化の展開方策に関する研究	H28～H30	○	B	B	B	資料5
⑩	果樹試験場	積雪沈降力による果樹の樹体被害を省力的に回避する技術の確立	H26～H30	○	B	B	B	資料5
⑪	水産振興センター	ハタハタの資源管理と活用に関する研究	H26～H30	○	B	B	B	資料5
⑫	水産振興センター	シジミなど湖沼河川の水産資源の維持、管理、活用に関する研究	H26～H30	○	B	B	B	資料5
⑬	林業研究研修センター	オール秋田によるキノコの低コスト栽培技術の確立	H26～H30	○	A	B	B	資料5

(参考)令和元年度研究課題評価内部評価委員会委員名簿

機関名	評価委員会 開催日	評価委員の所属・職名	氏 名
総合 食品研究 センター	6月18日(火)	秋田うまいもの販売課長 総合食品研究センター所長 総合食品研究センター企画管理室長	大友 義一 高橋 仁 嘉藤 佳奈子
健康環境 センター	6月19日(水)	環境管理課長 環境整備課長 生活衛生課長 ※1 健康環境センター所長 健康環境センター企画管理室長	川村 之聡 古井 正隆 庄司 浩久 高橋 行文 高橋 正嘉
農業 試験場	5月30日(木)	農林政策課主幹 農業経済課長 水田総合利用課主幹 園芸振興課政策監 農業試験場長	亀山 博昭 柴田 靖 大山 実 播磨 成人 金 和裕
果樹 試験場	5月30日(木)	農林政策課主幹 園芸振興課政策監 果樹試験場長	亀山 博昭 播磨 成人 河越 博之
畜産 試験場	5月30日(木)	農林政策課主幹 畜産振興課長 畜産試験場長	亀山 博昭 畠山 英男 佐藤 行
水産振興 センター	5月30日(木)	農林政策課主幹 水産漁港課長 水産振興センター所長	亀山 博昭 阿部 喜孝 千葉 俊成
林業 研究研修 センター	6月4日(月)	農林政策課主幹 園芸振興課政策監 林業木材産業課長 森林整備課長 林業研究研修センター所長	亀山 博昭 播磨 成人 齋藤 俊明 鈴木 光宏 佐藤 龍司
産業技術 センター	5月20日(月) ※2	地域産業振興課長 産業技術センター所長 産業技術センター上席主席研究員(兼)部長 産業技術センター上席主席研究員(兼)部長 産業技術センター電子光応用開発部長 産業技術センター先端機能素子開発部長	工藤 千里 赤上 陽一 沓澤 圭一 遠田 幸生 近藤 康夫 千葉 隆

※1 書面審査のみ行った委員

※2 全ての内部評価が書面審査(日時は評価依頼日)